

説明文の要旨をえらぼう

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 写真をよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

運動会のつな引きを、二人が同じ場所から、同じ広さで写真にとった。一人目は、みんなが歯を食いしばってつなを引いたしゅん間をとった。もう一人は、合図の前に、みんなが笑って話していたしゅん間をとった。どちらの写真にもうそはない。それなのに、一まいは真けんな勝負に、もう一まいはのんびりした遊びに見える。

- 1 写真は、とるしゅん間によって、見る人の受け取り方が変わる。
- 2 写真は、うつす広さによって、見る人の受け取り方が変わる。
- 3 写真は、とるしゅん間によって、写っていることの正しさが変わる。
- 4 写真は、うつす広さによって、写っていることの正しさが変わる。

2 係の仕事をよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

学級の生き物係を、一人ずつ交代でやっていたころは、水そうのそうじに、毎回三十分近くかかっていた。そこで、二人組にして、水をくむ人とあらう人に分けることにした。すると、そうじは十分ほどで終わるようになった。ただ、えさやりをわすれる日は、前と同じくらいあった。

- 1 係の仕事は、一人ずつ交代でやると、わすれにくい。
- 2 係の仕事は、一人ずつ交代でやると、早く終わる。
- 3 係の仕事は、二人組で分けてやると、わすれにくい。
- 4 係の仕事は、二人組で分けてやると、早く終わる。

3 計画表をよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

夏休みの計画表に、毎日の予定を時こくごとに細かく書いた。ところが、一日ずれただけで、その先がみんなくずれ、宿題が終わったのは八月の終わりだった。次の年は、一週間ごとに「やること」だけを書いた。予定どおりにできない日は前の年と同じくらいあったが、宿題は八月の半ばに終わった。

- 1 計画表は、毎日の予定を細かく書くと、早く終わる。
- 2 計画表は、一週間ごとにやることだけ書くと、早く終わる。
- 3 計画表は、一週間ごとにやることだけ書くと、守りやすい。
- 4 計画表は、毎日の予定を細かく書くと、守りやすい。

4 防災マップをよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

市の防災マップで自分の家をさがすと、大雨の時には水につからない場所だった。これで安心だと思った。ところが、通学路をたどると、とちゅうの橋の近くが、深く水につかるおそれのある場所になっていた。家が安全でも、そこまでの道が安全とはかぎらないのだ。

- 1 防災マップは、昔の地図とくらべながら見ておくべきだ。
- 2 防災マップは、家族とひなん場所を決めながら見るべきだ。
- 3 防災マップは、家までの道すじもたどって見ておくべきだ。
- 4 防災マップは、自分の家の場所をまず確かめておくべきだ。

説明文の要旨をえらぼう【こたえ】

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：1

二人は『同じ場所から、同じ広さで』とり、『うそはない』。とったしゅん間がちがうだけで『真けんな勝負』にも『のんびりした遊び』にも見える、とあります。

2 答え：4

一人ずつだと『三十分近くかかっていた』。二人組に分けると『十分ほどで終わる』ようになった。わすれる日は『前と同じくらい』でした。

3 答え：2

細かく書くと『八月の終わり』まで、一週間ごとに書くと『八月の半ばに終わった』。予定どおりにできない日は『前の年と同じくらい』でした。

4 答え：3

家は安全でも『通学路をたどると…水につかるおそれのある場所』があった。『そこまでの道が安全とはかぎらない』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「ところが」のあとに書かれた結果から、筆者の考えをつかみます。